

2022年

夏号

ふくしまで働く

○発行
福島労働局
職業対策課
☎024(529)5438

「ふくしまで働く」は福島県内外に避難されている皆様や福島で働きたいと
思っている方々に対して、就労、雇用の視点から福島県内外の支援策等を発
信するために厚生労働省福島労働局が発行している広報紙です。

特

集

・いわき市長からのメッセージ
・あゆみ わが社の今
「株式会社ポップジャパン」

福島県雇用情勢(2022年5月)

有効求人倍率(受理地別) 1.40倍(全国19位)
(就業地別) 1.57倍(全国12位)

有効求人は、すべての主要業種で増加しており、35,091人分の求人申し込み
があります。

個別の求人は、全国のハローワーク、インターネットで検索ができます。

※有効求人倍率/ハローワークで仕事を探す人1人に対し、何人分の求人があるかを示す指標。
1を上回っていれば、仕事を探す人より仕事の数が多いことになります。



いわき市

復興にかける想い 避難されている方へのメッセージ



内田 広之 市長

地元を離れ、避難生活を送られている皆様に心から御見舞いを申し上げます。

東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故から11年が経ちました。これまでの
本市の復旧・復興は、関係する皆様の並々な御尽力により、防潮堤の整備や土地
区画整理事業など、ハード面の整備は概ね完了するなど確かな歩みを進めてきました。

復興の途上において、本市は、令和元年東日本台風など大規模な自然災害に見舞わ
れました。また、一昨年から今もなお、世界中で新型コロナウイルス感染症が猛威を振
るい、多大な影響を及ぼし続けています。

このような中にあっても、市民の皆様の暮らしの安全・安心、地域経済の維持・活
性化、子育て・教育の推進などは着実に進めていくことが求められます。そのベース
となるのが「人づくり」だと考えています。各分野を支える人の力を伸ばせば、無限大
の力が発揮できると信じています。若者から高齢者まで、あらゆる世代が、いわきに
魅力を感じ、いわきを誇りに思う。そんなまちを「人づくり」で実現します。

このような考え方のもと、次の5つを大きな柱として、重点的に取り組んでいます。

1つ目の柱は、「まちの魅力を高めること」です。人づくりの基盤は学力です。人づくり日本一と学力日本一に向けて、
児童生徒の学力向上策を強化します。

2つ目の柱は、「命を守ること」です。過去の災害の経験を教訓とし、これまで以上に防災・減災に力を入れていきます。

3つ目の柱は、「暮らしを守ること」です。妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない子育て支援を行うため、「いわきネ
ウボラ」の体制強化を図ります。また、不妊や不育でお悩みの方の声を受け止める体制を充実させます。

4つ目の柱は、「地域を元気にすること」です。中山間地域や沿岸地域を支える農林水産業をしっかりと次世代に引き
継いでいくため、担い手の確保・育成に取り組めます。

5つ目の柱は、「未来を先取りすること」です。グリーン社会の構築、脱炭素に取り組むため、太陽光や風力、水素、バッテ
リーなど、次世代エネルギー利活用を積極的に進めています。

先行きが不透明な時代ではありますが、それを乗り越え、飛躍していく可能性がいわきにはあります。いま目
前にある危機を克服し、ふるさといわきを「人づくり日
本一」のまち、皆様が戻ることができるようなまちとし
て、しっかりと築いていきたいと考えています。

今後とも皆様の深い御理解と温かい御支援を心から
お願い申し上げます。



(提供：小名浜港湾事務所)





就活の情報収集なら！

働きたいネット

何から始める？お悩みの方へ

就職準備 におすすめ！



NEW

就職応援マルシェ

就職に役立つ情報がたくさん！
アレもコレもマルシェで聞いてみよう！
県内各所で開催予定

予約不要

先着順

個別対応

旬の就活を！

あなたにピッタリな支援をマルシェで見つけてみませんか？

会場によっては、各種イベントを開催します。
詳しくは、電話でお問合せください。

各種イベント

- 棚卸しシートで自己分析！
- 採用の近道 - 企業はこんな人材を求めている！
- シニア向け相談会
- 今すぐ変わる！相手に好印象を与える面接マナー
ほか

県内各地で開催予定！
最新情報はこちらから



自分に合った企業を見つけたい方へ

情報収集 におすすめ！



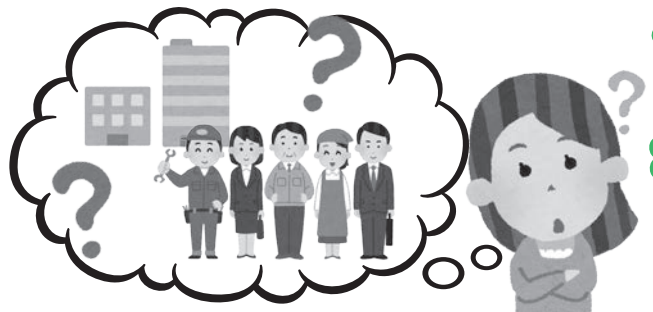
NEW

企業見学会

『応募したいけど、どんな会社だろう？』

求人票だけではわからない、
実際の仕事や環境を見て、今すぐ前へ進みましょう

- メリット① 職場の雰囲気がわかる！
- メリット② 気になる事をその場で聞ける！
- メリット③ 働く自分がイメージできる！



開催情報、申込についてはこちらから



こちらもチェック
ひとり一人にあわせた
就職支援！

求職者カフェはこちら



こちらもチェック
参加者の95%が
「参加してよかった」と回答！

就職面接会はこちら



お問合せ先

平日 9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 16:30

福島広域雇用促進支援協議会

TEL:024(524)2121

チェックしてね！

働きたいネット

検索





あゆみ わが社の今 株式会社 ホップジャパン

【事業所紹介】

所在地：福島県田村市

事業内容：地産ホップを使用したクラフトビールの醸造・販売
併設ロッジ、ホップ畑の運営
市の指定管理者としてオートキャンプ場他を運営

事業内容の紹介

福島県はかつてホップの一大生産地でしたが、2000年初頭には消滅してしまいました。ホップジャパンは2017年田村市で新たな栽培方法によりホップ農業を復活させ、そのホップをふんだんに使ったビールを作るため2020年、同市のアウトドア施設「グリーンパーク都路」内の遊休施設を譲り受け「ホップガーデンブルワリー」を開業しました。出来立てのクラフトビールを楽しむタップルームの他、2021年には宿泊施設「ホップガーデンロッジ」も開業しました。

また、市の指定管理者として園内のキャンプ場やディスクゴルフ場などの企画運営も行っており、ホップだけではなく農業研究機構の協力で大麦などの栽培も行っております。

キャンプ場やロッジで焚火をしながら、そして夜にははっきりと見える満点の天の川と共にクラフトビールを楽しめる稀有なアウトドア施設として人気を博しています。



会社理念

当社の理念は、原料である1次産業から始め、2次、3次、6次産業化につなげていくサイクルを一つのコミュニティで展開することで循環する無駄のない社会づくりを表現することです。大量生産大量消費、そして大量に捨てられる今の社会は、モノができていく過程が見えないからだと思っています。原料から作っていくプロセスが見える化され、そのストーリーを知ることによって単にお金とモノの交換から心の交流が生まれ、モノを大切にしたい、自然と共生したいという意識につながっていくのではないかと考えています。



職場環境

こうした理念に共感して集まったスタッフ全7名のうち、4人がターン、2人がUターンと、この事業のために遠くから移住してきました。「いいモノ作りはまず作り手が楽しんで働ける環境でなければならない」との思いから、自主性を重視し、自分で時間を作りディスクゴルフに興じるなど常識にとられない自由な社風が特徴です。



今後の展望

現在、ビールだけでなく自家栽培小麦とホップを使ったパン作りや麦わらを利用したクラフトワークなども取り組んでいますが、今後は養蜂に挑戦し、施設内の花畑からとった蜂蜜でお酒(ミード)を作るなど循環するコンテンツをどんどん増やしていき、人とモノと事が自然につながる「循環テーマパーク」にしていきたいです。

「福島就職支援コーナー」設置ハローワーク

都府県	名称	住所	TEL
宮城県	ハローワーク仙台	仙台市宮城野区榴岡4-2-3 仙台MTビル5F	022(299)8820
山形県	ハローワーク山形	山形市桜町2-6-13	023(684)1521
	ハローワーク米沢	米沢市金池3-1-39 米沢地方合同庁舎内	0238(22)8155
埼玉県	ハローワーク行田	行田市長野943	048(556)3151
東京都	ハローワーク飯田橋 東京交通会館分室 ※令和2年4月1日にハローワーク品川から業務移管しました。	千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8F	03(5288)6115
新潟県	ハローワーク新潟 ときめきしごと館	新潟市中央区弁天2-2-18 新潟KSビル1F	025(240)4510
	ハローワーク柏崎 まちなか相談室	柏崎市東本町1丁目15-5 フォンジェSC棟地下1F	0257(24)0810
大阪府	ハローワークプラザ難波	大阪市中央区難波2-2-3 御堂筋グランドビル4F	06(6214)9200

<「福島就職支援コーナー」設置ハローワーク連絡先>

求職者支援制度を利用して働きながらステップアップしませんか!!

★福島県内での訓練メニュー

- パソコン基礎科
- パソコン応用科
- DTP-Webデザイン科
- 医療事務科
- 経理事務科
- 農業技術習得科 等

県内の訓練全般のことはこちらから



もよりのハローワークはこちらから



シフト制で働く方や求職中の方へ



厚生労働省福島労働局・ハローワーク

ふくしま 12 市町村移住支援センター

ふくしまの12市町村での暮らしを考えてみませんか？

支援センターの役割

広域戦略等

- 全国の移住に関心を持つ層への情報発信
- 仕事や住まいの情報提供
- 移住体験ツアー等の企画実施

移住支援等

- 市町村、まちづくり会社、移住希望者の支援
- 12市町村への移住希望者相談対応
- 市町村との連携事業の実施

ノウハウ蓄積等

- ノウハウの蓄積及び共有
- 全国の先進事例等の調査・分析

ふくしま12市町村移住ポータルサイト

未来
ワーク
ふくしま



- 「ふくしま 12 で働く」のご案内
就職や起業に関するサポート
- メルマガ登録のご案内
移住に関する最新情報をお届け中！
- 支援制度のご案内
交通費等補助金など各種支援金
- お問い合わせ先
ふくしま 12 市町村への移住を考えられている方に



ふくしま12市町村移住支援センターは、2021年7月1日に12市町村(田村市、南相馬市、川俣町、広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村)への移住・定住を促進するため、広域連携が効果的な事業や12市町村による移住施策の支援等を行うため福島県が設置しました。12市町村の移住・定住の促進に向けた課題を把握しその解決にあたります。

ふくしまで働こう！

福島

復興エリア 求人特集

U・I ターン 実績多数!

- 田村市
- 南相馬市
- 川俣町
- 広野町
- 檜葉町
- 富岡町
- 川内村
- 大熊町
- 双葉町
- 浪江町
- 葛尾村
- 飯館村

是非QRコードにスマホ・携帯をかざして求人情報をチェックしてください

<https://求人ボックス.com/地方創生-福島県>

引越し代等をサポート!

就職・転職にあたり
転居を伴う方には

転居支援制度があります!

※制度の利用には条件がございます。詳しくはご相談ください。

経済産業省委託事業 福島求人支援チーム応募事務局 E-mail info-fukushima@pasona.co.jp
(24時間受付)

事業運営会社: 株式会社パソナ

協力: 厚生労働省福島労働局、公益社団法人 福島相双復興推進機構 (福島相双復興官民合同チーム)

「こんな求人ない?」「履歴書の書き方が分からない」「実際に面接に行ってみよう」と、まずは応募事務局へお気軽にお問い合わせください!